

稲門やま

早稲田大学大和稲門会会報第 38 号

発行所 早稲田大学大和稲門会
 発行人 会長 石川 公弘
 〒242-0006 神奈川県大和市南林間 4-9-10
 事務局長 宮崎 顕
 TEL・FAX 046-274-6169
 編集人 宮崎 顕、瀧本幸男、児浦義文

大和稲門会第 24 回総会開催

平成 29 年度(第 24 回)総会は 29 年 11 月 18 日(土)来賓 23 名を迎え、会員 24 名が参加し昨年と同じ「横浜うかい亭(大和市つきみ野)」で開催されました。

第一部総会

遠藤副会長の司会で開会、今年亡くなられた元幹事の松岡邦俊さんを偲び黙祷、続いて石川会長を議長に選出し議事開始。

事務局より 28 年度事業報告、決算案の説明に続き会計監査報告があり決算案が承認、続いて 29 年度事業計画案においては、当会が 2019 年 11 月に 25 周年を迎えることから「25 周年記念誌の発行」「各種イベントの開催」と併せて「会員増強運動」を展開する計画である旨の説明、続いて平成 29 年度予算案の説明があり事業計画案、予算案のいずれも承認されました。

続いて新たに幹事に就任された小澤重治氏の紹介があり総会は滞りなく終了しました。



挨拶 大和稲門会 石川会長



講演 座間市長 遠藤三紀夫氏

第二部講演会

講演は当稲門会会員で現在座間市長の遠藤三紀夫氏より「時局講演」をいただきました。「座間市はご承知のとおり米軍基地のある町として知られている」が、米軍基地の将校と遠藤市長の付き合いの中で信頼関係を醸成することにより基地の一部返還等を迅速に成し遂げるなど、人間関係の大切さをお話しされ、含蓄に富んだ講演となりました。

第三部懇親会

瀧本副幹事長の司会で開始、真鍋副会長の開会の挨拶に続き石川会長が挨拶。会長挨拶の中では「台湾高座会留日 75 周年記念大会」を、昨年開館した「大和市文化創造拠点シリウス大ホール」で来年 10 月 20 日に行うことになり大和稲門会としても協賛、さらに大会開催の経緯を話されたうえ、本日参加いただいている県下各稲門会の皆様にもご参加ご協力の要請がありました。

来賓挨拶では早稲田大学の横山勝常事務部長(地域担当部長)より大学の現状報告、続いて校友会神奈川県支部より横浜稲門会北條副会長、今年の神奈川県支部大会を主管した平塚稲門会の吉野会長が挨拶、来年の県支部大会開催の主管である茅ヶ崎稲門会の蓮本会長の乾杯の音頭で開宴となりました。



出席者の皆さんが楽しみにされている「うかい亭」自慢の料理と美味しいワインで会場はすっかり和やかな雰囲気の良い語り合いの場となりました。

宴も終盤を迎え、皆さん起立し輪になり肩を組んで大学校歌の大合唱、そして関根副幹事長のエールで会は大いに盛り上がり、最後は水野副幹事長の閉会の挨拶でお開きとなりました。

閉会後は岩本副会長手配のお土産を手に、再会を楽しみに皆さんうかい亭を後にされました。



映画「人生フルーツ」に登場する 元台湾少年工の悲劇

石川 公弘

大和中学の同級生から一通の封書が届きました。それには、「人生フルーツ」という素晴らしい映画を見た。そこには貴方が絶対に見ておくべき人の話があるとのことで、映画のちらしが同封されていました。

品のいい老夫婦が自宅の庭でくつろいでいる写真、庭に実るフルーツや野菜、人間の温かさを感じさせる部屋などの写真と共に、映画の説明が次のようになされていました。愛知県春日井市の高蔵寺ニュータウンの一隅、雑木林に囲まれた一軒の平屋。それは建築家の津端修一さんが、師であるアントニン・レーモンドの自邸に倣って建てた家。四季折々、キッチンガーデンを彩る 70 種の野菜と 50 種の果実が、妻・英子さんの手で美味しいごちそうに変わります。刺繍や編み物から機織りまで、何でもこなす英子さん。ふたりは、た

がいの名を「さん付け」で呼び合います。長年連れ添った夫婦の暮らしは、細やかな気遣いと工夫に満ちていました。そう、「家は、暮らしの宝石箱でなくてはいけない」、モダニズムの巨匠ル・コルビュジエの言葉です。



かつて日本住宅公団のエースだった修一さんは、阿佐ヶ谷住宅や多摩平団地などの都市計画に携わってきました。1960 年代、風の通り道となる雑木林を残し、自然との共生を目指

したニュータウンを計画。

けれど、経済優先の時代はそれを許さず、完成したのは理想とはほど遠い無機質な大規模団地。修一さんは、それまでの仕事から距離を置き、自ら手がけたニュータウンに土地を買い、家を建て、雑木林を育てはじめました。

同封されたちらしによると、2月28日(金)10時30分から12時まで座間市のハーモニーホール座間で上映されるとのこと。それが最後の上映のようでした。手紙が来たのは27日、私は予定をキャンセルしてその映画を見ることにしました。

「人生フルーツ」は宣伝通り素晴らしいものでしたが、その中に突然出てくる一台湾少年工と津端修一さんの話は衝撃的でした。私は、涙なしには見る事が出来ませんでした。次にそれを紹介したいと思います。

戦時中、東大から志願して高座海軍工廠に赴き、戦闘機雷電の設計に携わっていた津端中尉は、将校だけが優遇される生活に違和感を覚え、台湾少年工の寄宿舎で彼らと一緒に生活していました。

発足したばかりの高座海軍工廠は設備が十分でなかったため、全国各地の優良工場へ台湾少年工を派遣しました。津端中尉も一千名の少年工と共に三菱重工名古屋航空機生産工場へ派遣されました。その三菱名古屋工場で、中尉は少年工のリーダー格だった陳清順さんを弟のように可愛がりました。戦争が終わり別れの時、陳清順さんは「津端」と自分で彫った印章を中尉に贈ったのです。その印鑑を津端夫妻は実印として永く使用していました。

たまたま、夫妻は自らの生活を描いた新書発表会を台湾で開くことになり、陳清順さんの消息を調べました。

そこで津端さんは、長く続いた戒厳令下の台湾で、陳清順さんが政治犯として銃殺刑に処せられたこと

あれから50年、ふたりはコツコツ、ゆっくりと時をためてきました。本映画は東海テレビドキュメンタリー劇場第10弾。ナレーションは女優・樹木希林。ふたりの来し方と暮らしから、日本の国がある時代に諦めてしまった本当の豊かさへの深い思索の旅が、ゆっくりとはじまります。

を知りました。夫妻は墓参りをし、永年使用してきた印鑑を彼に還そうと思いました。台湾少年工の今も続いている同窓組織「台湾高座会」の役員たちが津端夫妻を歓迎しました。李雪峰会長、宋燈山副会長、謝清松総幹事夫妻、林延棋幹事、陳鵬仁名誉教授などの懐かしい顔が並びます。

2014年8月14日の午後、津端夫妻は陳清順さんの墓を訪ねました。政治犯を大事にすることは許されなかったためか、その小さな石の墓標は山の中の空き地にひっそり立っていました。ただ、陳清順之墓と刻まれた文字は真つ赤に塗られていて、銃殺のとき流れた彼の血を思わせ、亡き人の怒りを表しているようでした。墓と周辺の掃除を済ますと、夫妻は陳清順さんが残してくれ、彼ら夫妻が終生大切に使ってきた今になると陳清順さんの遺品になってしまった「津端」の印章を、ていねいに墓前に埋め、花を供えました。津端修一さんは、墓前にひざまずいたまましばらく動きませんでした。突然、墓石を抱えるようにして、「台湾軍」の歌を朗々と歌い出しました。台湾少年工が当時愛唱していた歌で、今も歌われています。

太平洋の空遠く 輝く南十字星
黒潮しぶく椰子の島
荒波吼ゆる赤道を
にらみて立てる南(みんなみ)の
護りは我ら 台湾軍
嗚呼 嗚呼 敵として台湾軍



悲しみがこみ上げてくるのか、後半は途切れ途切れになりました。しかし最期まで間違いなく歌われました。優しい津端さんの顔が、このときは古武士を思わせる風貌に変わっていました。「台湾軍」の歌は、台湾少年工が宿舎と工廠を結ぶ出退勤の道すがら、隊列を組んで進むとき必ず歌っていたものです。喜びのと

きも、望郷の思いを克服するときも歌う、みんなの勇気を奮い立たせる歌でした。

おそらく陳清順さんも、銃殺される最後のときに、心の中で叫ぶように歌ったにちがいません。そう考えると、私の眼からは涙が止めどなくながれ出ました。

* 同映画は劇場「ポレポレ東中野」(JR 東中野駅前)での上映が 5 月初めまで予定されているようです。

<http://life-is-fruity.com/theater/>

また、やまと芸術文化ホールシリウスのサブホールでも 5 月 23 日(水)10:30~と 14:00~の 2 回上映予定です。

早稲田大学校友会神奈川県支部大会開催

平成 29 年 11 月 3 日(土) 平塚稲門会の主管、330 名が参加し大磯プリンスホテルで開催され、大和稲門会からは石川会長以下 10 名が参加しました。

第一部 県支部大会

大会旗、来賓、役員の入場につき平塚稲門会の吉野会長が歓迎挨拶を述べた。

当地平塚では来年は明治 150 年を迎え大磯に別荘を置いた伊藤博文、大隈重信、陸奥宗光、三井財閥の大番頭池田成彬に関わるイベントが計画されていること。続いて平塚稲門会の会員で「早稲田の栄光」を作詞した岩崎巖さんの紹介など雄弁会出身者らしい力強い挨拶でした。続いて新たに神奈川県支部長に就任の鴻谷横浜稲門会長の挨拶、来賓、役員(県内各稲門会会長)の紹介があった。



来賓の挨拶；鎌田早稲田大学総長より大学の近況報告

来年は総長選の年で投票枠を 1000 人に拡大、校友の投票枠を増やし校友の意見を学校運営に反映させたいこと。また、三選禁止規定があり自分の再選はない旨の話で結ばれた。続いて神奈川県支部より大学への寄付金贈呈があり県支部大会は終了。

第二部 講演会

早稲田大学 大学史資料センター助教の廣木尚氏

大隈重信侯が歴史をどのように見ていたかということについての秘話で、大隈侯は確固とした歴史観に基づき現実の問題に対処した政治家であったこと。特に井伊直弼について高く評価していたなど興味深い話を聞くことができました。

第三部 懇親会

懇親会は平塚稲門会の混声コーラスグループによる歓



迎、校友会福田代表幹事の挨拶、湘南三田会会長の挨拶、それについての乾杯で開宴。

宴会はテーブル形式の中華料理で、稲門会毎に席が設けられ、ゆっくり食事ができ、酒も進む。舞台ではアトラクションとして「よさこい踊り」や応援部・チアガールによる「紺碧の空」などの演奏があり、場を盛り上げた。

宴も終盤を迎え、平塚稲門会から次期開催の茅ヶ崎稲門会に大会旗が引き継がれた。

最後は全員が起立し、肩を組み、学生応援部のリードで校歌を斉唱しお開きとなりました。

平塚稲門会の皆様、大変お世話になり有難うございました。

(児浦記)

大和稲門会秋のハイキング開催 (横須賀軍港巡り)

2017 年 10 月 30 日(月)、参加者；眞鍋、鈴木、瀧本、菟場、宮崎、稲葉(藤沢稲門会)、小澤(初参加)、佐竹(劇団やまと塾)、(幹事) 遠藤、児浦(敬称略) 以上 10 名
秋のハイキングとして横須賀の軍港巡りを実施、久しぶりに参加の眞鍋副会長、新加入の小澤さんも参加し、10 名の参加となりました。

前日からの台風 22 号の接近で開催が危ぶまれたが、幸い台風は夜の間に駆け抜け、当日は風は強かったものの文字通りの秋晴となりました。京浜急行汐入駅前に集合し、汐入ターミナルから観光船シーフレンド号に乗船、台風直後にも拘らず定員いっぱい 250 名が乗船の大盛況。コースは米海軍基地の横須賀本港を出発し、吾妻島を回り海上自衛隊の基地のある長浦港に入り、新井掘割水路を通り、港に戻る 45 分間のクルージングです。



陽気な案内人の説明

を聞きながら本港から北に向かって進むと真っ黒な船体の潜水艦が見え、旭日旗が掲げられ、船員らしき人がこちらに向かって手を振っていた。ここは日本の潜水艦も寄港するとのこと。さらに進むと数隻の米海軍潜水艦、さらには最近話題の多いイージス艦数隻も見える。イージス艦は高性能のレーダーを搭載、大砲は何と 120 キロ先の目標例えば富士山にも届くそうだ。

「原子力空母ロナルドレーガン」は残念ながら出港しているとのことであったが、空母には 5 千人の乗組員が乗船するそうで、寄港しているときは横須賀の町は大いに賑わうそうだ。

観光船はいったん外航に出て吾妻島を回り長浦港内に再び入る。ここには海上自衛隊のイージス艦、護衛艦等多くの艦船が停泊していた。さらに我々の船は新井掘割水路を経て横須賀本港内の汐入棧橋に向かい、ここで 45 分のクルージングを終わり下船する。



船を下りてからは港に隣接するヴェルニー公園を散策。広場のほぼ中央には幕末に横須賀造船所建設の責任者であったヴェルニーの碑や当時幕府の要人として造船所建設を推進した小栗上野介の記念碑、また軍艦長門の記念碑等が建立されていた。この公園からは先程乗った観光船や米潜水艦、さらに多くの艦船も見えた。公園内のフランス式花壇のバラは先日の台風で大部分が散った後だったが十分に楽しめた。

昼食はショッピングプラザ内の「ダッキーダック」というレストランに入る。食事は当地名物の横須賀カレー派とランチ派に分かれたが、ビールで乾杯し食事をとりながら、クルージングの思い出に花を咲かせた。食事の後は横須賀名所の「どぶ板通り」を散策しながら横須賀中央駅に向かう。当日は平日の午後で空母も寄港していないことから閑散としていた。横須賀中央駅より京急に乗車し、それぞれ無事帰宅した。

やはり早稲田は強かった (箱根駅伝応援記)

宮崎顕事務局長

今年も 2 日・3 日に箱根駅伝が行われました。

母校を応援すべく、第 1 日目の正月 2 日には例年のごとく藤沢橋近くの神奈中バスの営業所へ向かう。藤沢稲門会の方々がすでに営業所のまわり一面に、早稲田大学や藤沢稲門会、そして藤沢以外の近隣稲門会のほりも幟を立てて応援場所を設営してあり、いつもの藤沢稲門会の方々のにこやかな顔が我々を迎えてくれました。

早速受付をすまし、新年のご挨拶を申し上げ、ここ数年参加している秋田稲門会の方々の好意で用意された秋田名物のきりたんぼ鍋をいただきながら、甘酒や日本酒で乾杯です。

今年は出雲駅伝や、全日本大学駅伝の成績では東海大学や神奈川大学が抜きんでおり、反対に早稲田大学の評判はあまりよくありませんでした。

案の定、1 区では 11 位と出遅れておりました。

しかし、2 区では 6 位へと頑張り、さらに 3 区の光延 誠選手が我々の前で力走、4 位までチームを引き上げ、平塚中継所へと向かいました。

選手たちが走り去ると、藤沢橋での応援は終わりとなり、応援に参加した校友の人々に対し藤沢市長が挨拶、藤沢以外の大和、相模原、鎌倉、逗葉等の校友も順次紹介され、みんなで校歌をうたい散会しました。

藤沢からの帰路では自宅に近づくにつれ順位が気になり、自宅とラインで順位を教えてもらったりしました。その後、5 区山登りではキャプテン安井雄一選手が区間二位と力走し、往路 3 位という下馬評を覆す 2 位という素晴らしい成績でゴールしました。

さすがは、早稲田、今年はダメかと思っていた私は申し訳ない思いでした。

こうなると欲が出ます。なんとか青学大の連覇を止めてほしいと思うのは当然で復路に期待しましたが、層の厚い青山学院の前には進めませんでした。

復路では順位を落としたりもしましたが、9 区清水欽太選手が区間新の走りをみせ、順位を盛り返し、結局、総合 3 位というのが今



年の成績でした。

下馬評には上らなかったものの、早稲田はまだまだ強いんだぞというところを存分に発揮した今年の箱根駅伝でした。

来年こそ、青学の連覇を阻止し、早稲田の勝利を期待しましょう。



新入会員プロフィール (小澤重晴)

氏 名： 小澤 重晴	出 身：東京都練馬区
現住所：中央林間2丁目	誕生日： 昭和 20 年 6 月 26 日
出身学部：理工学部電気工学科 (昭和 44 年卒)	
趣 味： ゴルフ、コンサート、観劇、スポーツ観戦	

この度「大和稲門会」に入会し、昨年の総会で幹事になりました小澤重晴です。

大学では理工学部電気工学科に籍を置き、ゼミは「高電圧」を専攻しました。学生時代はスケールの大きいもの、強いものに憧れ、就職先も造船会社か原子力分野を希望していましたが、最初に受けた電気計装会社から内定通知を受けそこに入社しました。今考えると良い選択をしたと思っています。その後、30歳で自動車部品会社に転職し、定年までそこに勤めました。そこでは電子部品事業や新規事業、海外進出の仕事に携わり、二回の海外赴任も経験しました。定年後は、再就職が決まり働き始めた矢先、妻に大病が見つかり、妻の看病を優先するため2年後にはその会社も辞める事になりました。その妻も8年前に他界し、現在は息子家族と一緒に暮らしています。

練馬という畑の中で育った影響か、若い時からスポーツが好きで、高校時代は陸上競技、大学時代は趣味として始めたスキーに夢中になり、社会人となってからは30歳から始めたゴルフにはまりました。そのゴルフは現在も続けています。現在母校(早大学院)の競走部OB会の役員をしていますので、毎年15日以上は競技場に応援に行っています。その他、六大学野球の早慶戦や箱根駅伝の応援にもよく出かけています。



前列 白い帽子がボクです

私の大学時代の友人に、各地の稲門会の役員をしている人が多くいて、私に稲門会への入会を進められたのが「大和稲門会」入会のきっかけです。70歳を過ぎてという遅い入会でお恥ずかしい限りですが、今後は「大和稲門会」の会員として積極的に活動にも参加し、幹事としても汗を流していく所存です。会員の皆様よろしくお願ひ申し上げます。(小澤)



イベント予告

「春のハイキング」

恒例の春のハイキングは「三溪園見学」を予定しています。

参加ご希望の方は、幹事宛メール又は電話で連絡願います。

開催日 5月29日(火)

場 所 三溪園 (横浜市中区本牧)

集合場所・時間等は後日連絡します

(JR 根岸線 根岸駅 10時半頃 根岸駅からバス約 10分 を予定)

園内には全国各地から移設された重要文化財指定の古建築が多くあり三溪記念館には貴重な美術品、工芸品が展示されています。庭園は花の名所としても知られ、サツキやフジが見頃と思われます。

昼は園内で軽食を摂り、その後は何処かでゆっくり飲食・歓談したいと思います。

ハイキング関係連絡先

遠藤 廣 046-293-7473

児浦 義文 046-274-0628

Eメール koura0114@jcom.home.ne.jp

(参考) 最近のハイキング

29年10月 横須賀軍港巡り&ヴェルニー公園、どぶ板通り散策

29年5月 旧吉田茂邸&大磯城山公園

28年11月 武蔵国分寺史跡と武蔵野の自然を残すお鷹の道・殿ヶ谷戸庭参

28年7月 JAXA 相模原見学ツアー&町田市国際版画美術館

*) 3月27日会員の有志で「大岡川」に花見に行ってきました。

「大和早慶ゴルフコンペ大会」

標記ゴルフコンペを下記により開催いたします。

ご参加の方は、幹事宛ご連絡ください。

1、開催月日 平成30年5月15日(火)

2、開催場所 東名厚木カントリー倶楽部

243-0308 神奈川県愛甲郡愛川町三増2607

TEL 046-281-2121

3、スタート 7時 インコース ウエスト

4、集合時間 6時40分

5、新ペリア方式による。同スコアの際はハンディの上位、高年齢の順位とする。

団体戦については、上位8名で争う。

幹事： 遠藤 廣 (293-7473)、関根 実 (261-8210)

カラオケ同好会の活動状況

大和稲門会の「カラオケ同好会」が再発足して 5 年を経過しました。ほぼ毎月開催していますが、皆様の御協力によりよく続いたと感謝しております。

参加者は大和稲門会員だけでなく、会員のご家族、知人の方々、藤沢稲門会の方々、市民劇団「演劇やまと塾」の女性団員も時々参加いただいております。

参加者はほぼ輪番で得意曲、新曲へのチャレンジ、デュエット曲等様々、曲によってはダンスも飛び出し多に盛り上がっています。

フィナーレは「紺碧の空」早稲田大学第 2 校歌と呼ばれる「人生劇場」、最後は全員で「早稲田大学校歌」を斉唱しお開きとしています。

会の様子につきましては毎月ホームページに掲載しておりますのでご笑覧下さい。



また、当会は原則毎月第 3 水曜日に開催しておりますので、大和稲門会の各種連絡の場、情報交換の場としても機能しております。大和稲門会への御意見、ご相談にも対応できるのではないかと思いますのでご活用ください。

「歌は余り得意でない」人も軽くお酒を飲みに行くぐらいのつもりでお立ち寄りください。

開催日時：毎月第 3 水曜日 14:00~17:00 (遅参、早退自由です)

場 所：カラオケスナック「ウイズユウ」 大和市南林間 1-10-17

セントラルビル 2 階 046-273-1773

小田急南林間駅西口(徒歩 2 分)横浜信金斜向い

初めて参加の方は駅から連絡ください。迎えに行きます。

090-9333-4479 児浦携帯

料金は千円プラス飲み物代 2~3 千円

幹事 関根、児浦



大和稲門会：来年度は 25 周年を迎えます

大和稲門会は平成 6 年 11 月に創立し、来年 11 月で創立 25 周年を迎えます。そのような訳で本年 11 月の総会は第 25 回総会となります。

このような節目となる来年の 25 周年に向けて今年は種々の準備作業を進めていきたいと考えております。

25 周年の記念事業として、記念誌の発行、記念大会の開催等を検討しておりますが現在の最大の課題は会員の増強です。現在会員として 100 名程が登録されておりますが、毎年会費を納入し会の活動に参加いただいている会員は 50 名に止まっており県内の他の稲門会に比較し寂しい状況にあります。

新会員の増強は一朝一夕にはいきませんが地道に勧誘活動を行う一方、既存会員の方々へは会の活動への参加をこれまで以上に呼びかけていく所存です。

そのためには魅力ある会の活動が不可欠です。

現在、バーベキュー大会、ハイキング大会、ゴルフの会、毎月のカラオケ定例会等を開催しており、懇親に重点を置いた活動を提供しております。これからはこれらの活動の充実を図りつつ、会員の皆さんと一緒に学び切磋琢磨していく活動も充実していきたいと考えております。その意味では役に立つ勉強ができると好評のパソコン教室は月 2 回開催しており、会員の皆様の経験、知識をさらに生かすべく新たに学べる場作りを進めております。このほかにも会員の皆様の要望、提案をもとに勉学の機会を増やしてしていきたいと考えております。

現在、ホームページを開設し会の活動状況等をタイムリーにお届けしておりますが、ホームページ上に「会員の投稿」の欄を設けておりますので、ご意見ご提案をいただき双方向の対話の実現を期待しております。

ホームページ：waseda-yamato.com あるいは「大和稲門会」で検索してください。

これからも会の活動への参加、協力をお願い申し上げます。

最後に 25 周年の時期につきまして、誤ったアナウンスがされましたことをお詫びし訂正させていただきます。

(大和稲門会事務局)

事務局便り (平成 29 年度上半期)

1. 会員数 現会員数 計 80 名

2. 活動状況

(1)行事内容

- ・ 29. 10. 1 「稲門やまと第 37 号」発行
- ・ 29. 10. 4 稲門祭実行委員会
- ・ 29. 10. 15 ホームカミングデイ&稲門祭
- ・ 29. 10. 27 ゴルフ大会 (東名厚木カントリー)
- ・ 29. 10. 30 ハイキング (横須賀軍港巡り)
- ・ 29. 11. 18 大和稲門会総会
- ・ 30. 1. 2~3 箱根駅伝応援 (往路 3 位、総合 3 位)
- ・ 30. 3. 3 春季代議員大会

・ 30. 4. 1 「稲門やまと第 38 号」発行

(2) 県下支部会等

・ 30. 10. 21 鎌倉稲門会総会出席
 ・ 30. 10. 21 厚木稲門会総会出席
 ・ 30. 10. 21 川崎稲門会総会出席
 ・ 30. 11. 4 神奈川県支部大会 (平塚稲門会主幹) 出席
 ・ 30. 11. 11 茅ヶ崎稲門会総会出席
 ・ 30. 2. 10 藤沢稲門会総会出席
 ・ 30. 2. 24 大和桜門会総会出席
 ・ 30. 3. 10 神奈川県幹事会・事務局長会議

(3) 幹事会

・ 29. 10. 13 幹事会
 ・ 29. 11. 6 幹事会
 ・ 30. 3. 15 幹事会

(4) 下期行事 (30 年 4 月以降)

① 家族バーベキュー大会 9 月 2 日 (日) (予定)
 ② 大和稲門会総会 11 月 10 日 (土)
 ③ ホームcomingデー・稲門祭 10 月 21 日 (日)
 ④ 神奈川県支部大会 11 月 3 日 (土) 以上

年会費納入についてのお願い (平成 30 年 4 月)

日頃、会員の皆様には、大和稲門会活動に格別のご理解とご支援を賜っておりますことに対しまして厚くお礼を申し上げます。

さて、当稲門会では会員の皆様から年額 3 千円の会費をいただき、「稲門やまと」の発行(年 2 回)費用をはじめとして当会の運営費に充当させていただいております。

当会の活動状況につきまして、本広報誌「稲門やまと」におきまして年 2 回、概略ご報告申し上げておりますが、年 1 回の通常総会、定期的な役員会の他、神奈川県支部大会並びに支部傘下の各稲門会活動への参加の他、会員の相互親睦と研鑽を図るべく、バーベキュー大会(9 月開催予定)、ハイキング(年 2 回)、カラオケ同好会(毎月)、ゴルフ大会(年 2 回)、パソコン教室(月 2 回)等を実施いたしております。

また、当会のホームページも本格稼働しており、当会の行事予定、実施状況等タイムリーにお届けしており、会員の皆様との情報交換に役立っております。

特に 31 年度は創立 25 周年を迎えるにあたり、会の活動の一層に充実を図るべく準備を進めております。そのためにも皆様方からの会費の納入は不可欠であり、過年度未納の会員の方々にもこれを機会に納入の再開を切にお願いいたす所存です。

下記の「年会費の納入状況」につきましては、今年度(29 年度)までの年会費をいただいた方を掲載させていた

いただきました。まだ納入されておられない方は郵便振込票を同封いたしております振込票にて納入戴きたく宜しくお願い申し上げます。

会費納入に関して疑問の点等がありましたら会計担当の児浦宛電話、Eメールにてご連絡ください。

敬具

会計担当 児浦義文 自宅電話 046-274-0628

Eメール koura0114@jcom.home.ne.jp

年会費納入状況 (30年3月31日現在)

30年度以降の会費をいただいている方

石井 稔夫	岩本 武夫	遠藤 三紀夫	大澤 善勝	加藤 英雄
國方 隆	小島 達之	佐藤 逸郎	鈴木 信義	橘川 泰一

29年度までの会費をいただいている方

石川 公弘	碓井 敦子	遠藤 廣	大澤 孝征	太田 勝人
加藤 裕之	加藤 敬一	小坂 悟	児浦 義文	小林美佐子
柴田 哲也	清水美加子	菅谷正一郎	関根 実	瀧本 幸男
土橋 仁志	中丸 敬治	中西 剛	菟場 直一	深井 伸治
古木 敏幸	保坂 保	眞鍋 藤正	町田 浩文	三重野省二郎
水野 昂子	宮崎 顕	村岡 猛	横沢 和信	遊佐 喜弘
渡辺 伸明	藤川 千鶴	小澤 重晴	迫田 幾太郎	

以上44名 以上のほか匿名希望の方1名あり合計45名

(上記は順不同、敬称は省略させていただいております)。

編集後記

本号をご覧になって一寸変わったかなと感じられましたか？
印刷は今までの業者からネット印刷へ、またモノクロからカラー印刷へと変わりました。編集部員も今までのベテラン部員に加えて新人が加わり、いろいろ新しいことに挑戦するようになりました。楽しく読みやすくということに加えて経費の低減にも役立つよう頑張ります。皆さんの読後の感想など大いに歓迎いたしますので編集人宛てにお寄せください

